

令和2年度 補助事業要望調査票(乗合バス関係)

令和2年度の車両・機器等導入にかかる補助事業について、各事業者の皆さまのご要望を調査します。

毎年度、早期の内示、交付決定を希望するご意見を多数いただくため、今回調査時期を前倒すこととしました。よって、現時点(令和元年度)の補助金交付要綱、実施要領、運用方針に基づき、調査を実施します。補助金交付要綱等が正式に策定された際、ご要望に沿わない結果になることもあり得ます。さらに、当省の進める政策の主旨をご理解の上、積極的に取り組まれる事業者を優先的に支援させていただきたいと考えています。その点ご了承の上、ご回答ください。

ご要望は、各地方運輸局運輸支局の管轄区域毎に調査票にまとめ、当該運輸支局の輸送担当あてに提出してください。

会社名

(TEL)

ご連絡先 (FAX)

ご担当者名

(E-mail アドレス)

1. 令和元年度の要望台数及び要望額について

① ノンステップバス、リフト付きバス等の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
B-1	ノンステップバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
B-2	リフト付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日
B-3	エレベーター(EV)付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日

「補助対象経費」には補助対象車両価格(オプション抜き)+車載機器価格×台数、又は改造費+車載機器価格×台数を記載してください。

○補助対象経費(1台あたり)について

・ノンステップバス 通常車両価格()万円 補助対象車両価格()万円
・リフト付きバス 通常車両価格()万円 補助対象車両価格()万円
・EV付きバス 通常車両価格()万円 補助対象車両価格()万円

- ※1 ノンステップバス、リフト付きバス等の導入については、導入・改造に要する経費のうちオプションを除く車両本体価格及び車載器類の価格、改造費が補助対象になります。(情報端末を同時に10台以上充電できるものが補助対象となります。)
- ※2 補助対象となる車載機器類は以下の通りです。
a. ノンステップバス標準仕様装備(リフトバスはこれに準ずる装備) b. ニーリング、アイドリングストップ、オートマチック装置 c. ABS装置
d. 車椅子固定装置、床の滑止め加工 e. 上記aからdまでに掲げるもの他、バリアフリー化に資する車載機器類であって、大臣が認めるもの
- ※3 観光用途の場合、車両と共に、多言語・WiFi・キャッシュレスのうちのどれか一つを導入するものが補助対象となります。
- ※4 観光用途以外の用途で用いる場合、申請事業者又は所属協会が都道府県から災対法の指定公共機関に指定されている場合、又は国もしくは自治体と災害時の人員輸送協定を結んでいる場合補助対象となります。
- ※5 車種、価格(導入車両、通常車両)のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。
- ※6 要望された導入目的(用途)に拘わらず、用途を指定させていただく場合があります。想定と異なる補助条件となることもありますので、ご承知おきください。
- ※7 連節バスを導入する場合は連節バスと一体として整備する停留施設、公共車両優先システム(PTPS)車載器等も対象となります。補助対象経費にはそれらの導入経費も加え額を記載してください。また、上記のとおり車種、価格のわかる資料のほか、車両と一体として整備する停留施設等の内容、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

○ノンステップバス、リフト付きバス等の導入目的(該当するものにチェック☑をしてください。)

観光用途 (空港アクセス、観光周遊) 観光用途以外(通常の営業運行に使用) 両方

○車両の導入状況(以下に数値を記載してください。)

・乗合バス車両の総保有台数(A) ()台
・2019年度末における、ノンステップバス車両の総保有台数(B) ()台 (B/A %)
・2020年度末における、ノンステップバス車両の総保有予定台数(C) ()台 (C/A %)
・2019年度末における、リフト付バス車両の総保有台数(D) ()台 (D/A %)
・2020年度末における、リフト付バス車両の総保有予定台数(E) ()台 (E/A %)
・2019年度末における、EV付バス車両の総保有台数(F) ()台 (F/A %)
・2020年度末における、EV付バス車両の総保有予定台数(G) ()台 (G/A %)

(前ページからの続き)

○観光用途の場合の要件確認 (車両とあわせて対応するものにチェック☑をしてください。(いずれか一つ導入必要))

多言語化 無料公衆無線LAN環境の整備 キャッシュレス対応

○観光用途以外(両方を選択した場合含む)の場合の要件確認

- ・所属都道府県バス協会名 () 地方指定公共機関に指定
- ・所属市区町村バス協会名 () 地方指定公共機関に指定
- ・事業者が直接地方指定公共機関に指定
- ・地方自治体と締結した災害協定名 ()

② BRTシステムの導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
B-4	連節バスの導入	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-5	PTPS車載器等の導入	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-6	停留施設の整備	式	万円	万円	令和 年 月 日

停留施設の整備に係る具体的な事業内容を記載してください。

※補助率は以下のうち該当するものを適用してください。

- 下記のどれにも該当しない事業 1/3
- 形成計画及び再編計画に基づいて実施される事業 2/5
- 形成計画及び再編計画並びに立地適正化計画及び都市交通戦略の双方に基づいて実施される事業 1/2
- 形成計画及び再編計画並びに軌道運送高度化実施計画又は道路運送高度化実施計画に基づいて実施される事業 1/2

- ※1 補助対象経費は、連節ノンステップバスの導入及びこれと一体的に整備する停留所施設(停留所標識、上屋、風除け、ベンチ、情報提供システム等)、公共車両優先システム(PTPS)車載器及びバス車内の乗継情報提供システムの整備等に要する経費となります。
- ※2 補助率が1/3よりかさ上げされる場合は、当該BRTシステム整備の実施が再編計画に明確に位置づけられる(関連事業として定められる場合を含む。)とともに、当該BRTシステム整備が実施される運行系統の沿線市町村において、計画事業が実施される場合であって、当該計画事業が当該系統と関連すると認められるものに限りま。
- ※3 車種、施設工事等の概要、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

③ その他訪日外国人旅行者が移動を楽しむ目的で導入するバス

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
B-7	サイクルバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
B-8	水陸両用バスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
B-9	オープントップバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
B-10	レストランバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日
B-11	上記以外のバスの導入	台	万円	(要望台数×140万円) 万円	令和 年 月 日

(前ページからの続き)

「上記以外のバス」の内容を具体的に、複数の種類がある場合は、内訳も記載してください。

- ※1 サイクルバスの導入(B-7)については、自転車を解体せずに乗車することができ、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費及び旅客施設において自転車を移動させるためのスロープの設置等に要する経費を補助対象とします(設計費、販促物作成費、多言語ウェブサイト作成費、翻訳費を含む。)
- ※2 水陸両用バス等の導入(B-8～11)については、バス車両の導入・改造等に要する経費を補助対象とします(設計費、販促物作成費、多言語ウェブサイト作成費、翻訳費を含む。)
- ※3 車種、施設工事等の概要、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

④ バスターミナルの移動円滑化、待合・乗継環境の向上、情報提供について

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-12		万円	万円	令和 年 月 日

事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 バスターミナルの段差解消は、エレベーター、スロープ等の設置に対する経費(本工事(資産の購入を含む)、付帯工事費、補償費及び事務費(補助対象事業に直接要する経費))が補助対象となります。
- ※2 待合・乗継環境の向上及び情報提供に要する経費は待合施設の整備(多機能トイレの整備含む)、ホームページの作成・改良等が補助対象となります。バリア解消との関連性に乏しい部分、また、老朽施設の更新に過ぎないと考えられるものについては補助対象としません。
- ※3 工事の内容、経費内訳のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑤ 多言語化への取り組み

(観光用途でノンステップバス、リフト付きバス等(B-1～3)を導入する場合、車両と共に、多言語・WiFi・キャッシュレスのうちのどれか一つを導入するものが補助対象となります。サイクルバス等(B-7～11)を導入する場合は多言語対応も同時にする必要があります。多言語化についても補助を要望する場合は記入してください。)

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-13	多言語案内用タブレット (翻訳アプリが搭載されたもの)	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-14	多言語翻訳システム機器 (ポケットク、iii(イリイ)等)	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-15	ホームページの多言語表記	式	万円	万円	令和 年 月 日
B-16	多言語研修の実施	回	万円	万円	令和 年 月 日
B-17	多言語バスロケーションシステムの導入	台	万円	万円	令和 年 月 日

- ※1 各導入機器については、製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。
- ※2 ホームページの他言語表記(B-15)はパソコン、スマートフォンから利用可能で、検索機能、予約システムを備えたものが補助対象となります。
- ※3 多言語研修(B-16)については、事業者等が自ら開催する研修が補助対象となります。従業員を英会話教室等に通わせ、その料金の全部又は一部を負担するものは対象になりません。
- ※4 多言語バスロケーションシステム(B-17)については、車載機器のほか、営業所に置くPC等の機器、システム導入費、データのGTFS化も補助対象となります。補助対象経費にはそれらも含めた導入経費総額を記載してください。また、車載機器の価格のわかる資料のほか、システム導入経費、データのGTFS化等車載器以外の価格のわかる資料を添付してください。更に、バス1台あたりの車載機器の経費も明示してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑥ その他多言語化(案内標識の多言語表記、案内放送の多言語化等)

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-18		万円	万円	令和 年 月 日

事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 多言語表記は英語併記を行うものを基本とし、中国語(簡体字/繁体字)又は韓国語その他必要とされる言語も対象とします。表記に当たっては、視認性、美観を損なわないよう配慮する必要があります。
- ※2 ナンバリング、ピクトグラムにかかる経費は、多言語表記と合わせて行う場合補助対象とします。
- ※3 事業内容が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(事業内容を説明した書面)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑦ 無料公衆無線LAN機器の導入

(観光用途でノンステップバス、リフト付きバス等(B-1~3)を導入する場合、車両と共に、多言語・WiFi・キャッシュレスのうちのどれか一つを導入するものが補助対象となります。無料公衆無線LAN機器についても補助を要望する場合は記入してください。)

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-19	無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi)	台	万円	万円	令和 年 月 日

- ※1 無料公衆無線LAN環境の整備に要する経費は、「機器購入費」(無料公衆無線LAN機器の購入に係る費用)及び「機器設置工事費」(無料公衆無線LAN機器の設置工事に係る費用、ソフトウェア購入費(セキュリティ対策含む。))を補助対象とします。
- ※2 いわゆる「ポケットWiFi」を導入する場合は、容易に持ち出しできないよう、車両内部に固定するものを補助対象とします。
- ※3 本事業による補助金を活用し、無料公衆無線LAN環境の整備を図る際は、共通シンボルマークJapan.Free Wi-Fiの申請も併せて行い、同シンボルマークの掲出を行う必要があります。
- ※4 製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑧ キャッシュレス車載機器の導入

(観光用途でノンステップバス、リフト付きバス等(B-1~3)を導入する場合、車両と共に、多言語・WiFi・キャッシュレスのうちのどれか一つを導入するものが補助対象となります。キャッシュレス車載機器についても補助を要望する場合は記入してください。)

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-20	クレジット決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-21	交通系IC決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日
B-22	QR決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日

- ※1 機能の明確な向上ではないもの(故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費)は補助対象になりません。
- ※2 交通系IC決済機器(B-12)と同時に、利用者に配布する交通系ICカードを購入する場合の補助対象費用は、全国相互利用可能なものであって、補助対象期間内に利用者に配付されたことが文書により確認可能なものを購入する経費のみを補助対象とします。なおデポジットや発行手数料を徴するものは対象になりません。
- ※3 各導入機器について、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。また、バス1台あたりの車載機器の経費が分かる資料も添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑨ その他キャッシュレスシステムの導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-23		万円	万円	令和 年 月 日

事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 機能の明確な向上に要する経費を補助対象とします。よって故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費は補助対象になりません。
- ※2 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑩ 携帯端末機器用充電機器、非常用電源装置の導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/2)	導入予定時期
B-24	情報端末への電源供給機器	台 万円	万円	令和 年 月 日
B-25	非常用電源装置	台 万円	万円	令和 年 月 日
B-26	その他付随機器	台 万円	万円	令和 年 月 日

その他の内容を以下に具体的に記入してください。

- ※1 情報端末への電源供給機器(B-24)は、災害等の発生時において訪日外国人旅行者が所有する携帯電話等の情報端末を充電するための機器が補助対象となります。
- ※2 非常用電源装置(B-25)は、旅客施設や車内・船内において、多言語で情報提供等を行うために必要な非常用電源装置(蓄電池システム、発電機等)が補助対象となります。
- ※3 各導入機器については、故障、老朽化に対応するための機能の明確な向上を伴わない修理修繕、代替更新のみに要する経費は補助対象としません。
- ※4 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、補助対象経費が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑪ バス車両又はバスターミナルのトイレの洋式化

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/3)	導入予定時期
B-27		万円	万円	令和 年 月 日

事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 基本整備項目(和式便器の洋式化、洋式便器の増設、洋式便器の旧式から新式への交換(温水洗浄便座を設置するものに限る。)、洋式便器の新設(建替、増築、新築時))及び基本整備項目に該当する事業と共に整備する項目(追加整備項目(温水洗浄便座、暖房便座、ハンドドライヤー、洗面器(自動水栓化等)、化粧鏡、小便器(自動水栓化等)、LED照明、室内空調(換気、冷暖房)設備、外装工事(屋根部分は除く。)、窓、入口ドア、案内標識(多言語又はピクトサイン等により、トイレであることを示す標識やトイレの場所まで誘導することを目的に設置する看板等)、案内表示(トイレ施設内のピクトサインや使用方法を説明する多言語表示の設置等)、掃除流し、その他)が補助対象となります。
- ※2 工事の内容、経費内訳のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

・インバウンド 関係

- ・外国語対応ドライバーの雇用数 ()人
- ・外国語対応ドライバーの雇用予定数 ()人
- ・定期観光システム数 ()系統
- ・外国語対応可能な定期観光システム数 ()系統
- ・対応可能言語(ホームページ)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

- ・対応可能言語(バスターミナル等案内窓口)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

- ・対応可能言語(バス車内でのコミュニケーション)

※対応している多言語すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> ロシア語
<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> ポルトガル語	<input type="checkbox"/> その他	_____

- ・外国語接遇研修実施回数(平成30年度実績) ()回実施
- ・多言語案内用タブレットの導入数(平成30年度末時点) ()台
- ・配車アプリ(多言語案内対応)の導入有無 有 無 (アプリ名)
- ・多言語対応状況(バス車内)

英語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%
中国語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%
韓国語	(対応割合()台中()台で対応可	対応率()%
- ・キャッシュレス決済対応状況 (対応割合()台中()台で対応可 対応率()%)

※対応しているキャッシュレス決済すべてにチェック☑をしてください。

<input type="checkbox"/> クレジットカード	<input type="checkbox"/> 電子マネー(nanako等)	<input type="checkbox"/> 交通系ICカード	<input type="checkbox"/> 銀聯カード
<input type="checkbox"/> Alipay	<input type="checkbox"/> Wechatpay	<input type="checkbox"/> その他QRコード	_____

- ・全国共通ICカード対応状況 (対応割合()台中()台で対応可 対応率()%)
(対応目標()% 目標達成予定年度(令和)年度)
- ・無料公衆無線LAN導入状況 (導入割合()台中()台に導入済み 導入率()%)

・MaaS (Mobility as a Service:「マース」)関係

- ・MaaSの参画意向

- ①実証実験等へ参加済み (エリアの取組に参加)
- ②実証実験等へ参加予定 (年 月 ~)
- ③参加を検討中
- ④参加予定なし

※「⑧キャッシュレス車載機器の導入(B-20~22)」、「⑨その他キャッシュレスシステムの導入(B-23)」の導入要望を記載された事業者は必ずお答えください。

- ・MaaSに資する基盤づくりの状況 ※補助の活用の有無は問いません。

- ア. 交通情報のデータ化 データ整備済み 未整備(検討中) 未整備(予定なし)
※GoogleやNavitime等の経路検索サービスで活用可能な形式のデータ(GTFS形式等)を指します。

- イ. AIオンデマンド交通 導入意向あり(自己資金) 導入意向あり(補助金前提) 導入意向なし
- ウ. キャッシュレス決済 導入意向あり(自己資金) 導入意向あり(補助金前提) 導入意向なし

※以下は、参画意向が①参加済み、②参加予定の場合にご回答ください。

- エ. MaaSアプリ 自社作成 既存サービスとの連携 作成予定なし
- オ. MaaSデータ基盤 自社作成 既存サービスとの連携 作成予定なし